

9月 ピッコロだよ!



【9月の活動】～2学期の目標を発表しよう/めざせ!タイムマスター/身体を動かそう～

月	火	水	木	金	土
	1 2学期の目標 を発表しよう 	2 2学期の目標 を発表しよう 	3 2学期の目標 を発表しよう 	4 2学期の目標 を発表しよう 	5 2学期の目標 を発表しよう
7 ルール活動 	8 身体を動かそう 	9 めざせ! タイムマスター 	10 身体を動かそう 	11 めざせ! タイムマスター 	12 身体を動かそう
14 めざせ! タイムマスター 	15 ルール活動 	16 身体を動かそう 	17 めざせ! タイムマスター 	18 身体を動かそう 	19 ルール活動
21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 ルール活動 	25 買い物 	26 めざせ! タイムマスター
28 身体を動かそう 	29 めざせ! タイムマスター 	30 ルール活動 			

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本):12日(土)

言語聴覚士(水流):基本的に平日はトリアに出勤

理学療法士(樋口):14日(月)、30日(水)

作業療法士(大平):3日(木)、11日(金)、15日(火)、19日(土)

☆中高生の活動(土曜日)

9/5……トーク(2学期の目標)

9/12……買い物

9/19……クッキング

9/26……図書館

(今月の主な活動)

《2学期の目標を発表しよう》2学期で挑戦したいことや、頑張りたいことについて考え、目標を立てます。また、その目標を立てた理由や、達成するためにすべきことを整理し、みんなに分かりやすく説明します。

《めざせ!タイムマスター》時間を守ることの大切さや、時間が決められている理由について考え、活動を通して時間を確認しながら行動する力を高めます。

《身体を動かそう》ルールを守りながら友だちと身体を動かす活動を楽しみます。

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間について、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前) 10 時～10 時 20 分まで、(午後) 13 時 30 分～13 時 50 分までにお願いします。
- ・お迎えについて、平日 17 時 20 分～18 時 00 分の間、土曜日(午前) 11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後) 15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。

【キャンセル待ちについて】

- ・キャンセル待ちの受け入れ連絡は、平日は当日午前中まで、土曜日は前日までに連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

- ・平日は 16 時以降、土曜日は(午前) 9 時 30 分以降、(午後) 13 時以降の欠席連絡になりますと、おやつ代(¥70/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



こんにちは。作業療法士の大平です。今回は「“同じあそびをくり返すとき”～感覚統合の視点から～」についてのお話です。日ごろ、同じ遊びや、同じ遊び方をくり返すお子さんに会うことがあります。そこにはどんな理由があるのでしょうか？ こどもたちの好きな遊びの中には、走る・跳ぶといった「動く感覚」や、砂や水に触れる「触る感覚」など実はたくさんの感覚情報が詰まっています。また「お気に入りだから」という理由だけでなく、新しい遊び方を知らない、一度覚えた遊びを柔軟に変えたり、展開したりするのが苦手、重力や姿勢への不安から慣れた姿勢や動きの方が安心できるなど、さまざまな要因が考えられます。こどもたちは決して目的なくあそびをくり返しているのではなく、特定の遊びの中で「今、自分が必要としている感覚」を満たそうとしているのかもしれませんが。まずは、こどもが繰り返す遊びにどんな意味があるのか、どんな感覚を求めているのかを観察してみましょう。それがわかれば、他のあそびへステップアップするヒントになります。例えば『砂遊び』が大好きな子なら手に伝わる特有のザラザラ感や、形が変わる感覚(触覚・固有覚/筋肉や関節で重さや抵抗を感じる感覚)を求めている可能性があります。ご家庭と一緒にクッキー作りやお米とぎを経験してみるのもいいでしょう。「お手伝い」はこどもにとっては楽しい「新しいあそび」になり得ます。こどもは、できることを繰り返すだけでなく「今よりも、ほんの少しだけ上の課題」を達成できた時に最も楽しさを感じます。床でボールを転がすのが好きなお子さんがいたら、転がすものの素材や大きさを変えてみたり、途中にちょっとした障害物を置くことでコロコロと転がる軌道を変化させてみたり。また、いつものお気に入りを少しだけ減らして、似たような新しい素材をそっと混ぜてみるのもおすすめです。「なんかいつもと違う！」「こんな転がり方も面白いな」と、新しい発見やワクワクに出会えるきっかけになります。「ほんの少しずつ新しい要素を加えたり、引いたりする」ことがポイントになります。大人が隣で一緒に寄り添いながら、遊びをそっと広げていきましょう。こどもたちの「好きなこと」の意味を理解し、達成感を味わえるように上手に応援すること。それがこどもたちの興味ややる気を引き出すことに繋がっていきます。



作業療法士
大平 優希

